

扉を開け!

～愛と本気の結晶を今!～

協力し愛ながら、本気で向かい愛ながら「自分の未来の扉を開く」!
いよいよこの2年間の集大成です!



～31日(日)	学校休業日
21日(木)	1, 3年登校日
25日(月)	1, 3年登校日
27日(水)	3学年PTA【中止】
28日(木)	1, 3年登校日
<6月>	
1日(月)	B日課 学校再開日 午前中のみ 給食なし
2日(火)	B日課 通常授業 給食開始

5日(金)	B日課 避難訓練
9日(火)	SC来校日
10日(水)	学校集金日
11日(木)	耳鼻科検診
15日(月)	基礎学力テストⅡ(～19日) 【中止】
17日(水)	B日課 眼科検診 職員会議
19日(金)	B日課 専門委員会
24日(水)	職員会議 職員研修 期末テスト(～24日) 【7/1～7/3に延期】
29日(月)	SC来校日

★予定が変更になる場合は、学校メール等でお知らせいたします。

学校再開に向けて...

学校休業の措置によってまだ先が見えない中、保護者の皆様におかれましては、コロナウィルス対応の難しさを感じながらの生活になっていることと思います。特に学校生活におきましては、普段のあるべき学校生活のリズムが未だに作れていない状況です。そういった中で家庭での自主学習で対応しなければならない授業、子どもたちも保護者の皆様も楽しみにしていただろう行事、そして何よりも最も関心事の一つとなっている進路学習など抱えているご心配やご不安はたくさんあるかと思えます。今後、今の生活のどこまでを継続していくのか、元の流れに戻せるのかは、その時の状況に合わせて日々変化することになります。学校としても、学年としても、生徒の健康を第一と考えた上で、できる限りの対応をしていきたいと考えていますので、ご理解、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

電話相談のご協力ありがとうございます!

4月の休業期間中と合わせて、現在電話相談をさせていただいています。子どもたちと顔を合わせることもままならない中、今後に向けての情報交換ができる貴重な保護者の皆様とのお話も電話対応となってしまっていることが非常に残念で仕方ありません。保護者の皆様からは、やはり多くの心配事の相談やご意見をいただいていることを、松井、新村両担任から聞いております。この後の内容にも示していきますが、ご心配な点やご不明な点は可能な限りお答えしていきたいと考えておりますので、ご連絡いただければと思います。



学校メールでお伝えしたことから

すでに学校メールでもお伝えしたのですが、今後のことも含めてご確認します。

(1) P T A総会書面評決書の回収

本年度、4月末に予定していたP T A総会の中止に伴い、保護者の皆様には総会資料をお子様を通じて配付させていただきました。総会の議案に関する書面決議の用紙が、資料の最後のページにありますので、まだ提出されていない保護者の方におきましてはご確認の上ご提出ください。

(2) 体育祭の中止

6月13日(土)に予定していた体育祭の本年度の中止が決定しました。代替案として、学活の時間等を定期的に利用したスポーツレクリエーション的な行事を計画しています。種目によっては係の生徒の意見も取り入れながら進めていく予定です。



(3) 動画配信とHP(ホームページ)

学校休業中の課題学習が中心となっていますが、子どもたちの学習支援の一つとして動画配信が行われています。文部科学省や栃木県教育委員会、栃木市教育委員会などいろいろな機関が配信しています。



本校におきましても、動画配信サイト「YouTube」を通じて配信を始めました。子どもたちの家庭学習に少しでも役立つものになればと考えていますのでご活用ください。なお、ネット環境に不具合がある場合は、代替の資料を用意するなどの対応を考えていますのでご連絡ください。

上記の機関が配信する動画は、学校ホームページにバナーがありますのでそこから確認してみてください。

(4) 学年P T Aと進路指導

5月27日(水)は中止。7月1日(水)は、7月8日(水)に延期となりました。本来、5月27日の学年P T Aでは、間近に迫った修学旅行や夏休みに予定されている高校の一日体験学習について説明する予定でしたが、その内容については7月8日に実施する学年P T Aに振り替えたいと思います。特に、例年、夏休み中に実施されている公立高校の一日体験学習については、中止・延期等の変更が予想されます。それに伴いまして、今後どのように進路指導を進めていくかということも重要な話となっていくと思います。もちろん、進路指導は6月1日の学校再開後から「教育相談」を通して動き出したいと考えています。以前もお伝えしたように、「進路希望調査」など進路関係の通知が今後増えていくことになると思いますので、ご確認をよろしくお願いいたします。



今後も学校メールでお知らせすることがありますが、学校ホームページの方にも大切な連絡や見ていただきたい資料などが更新されていきますので、こまめにご確認をよろしくお願いいたします。

その他の連絡として

(1) 給食費について

この学年だよりと同時に配付したものに、給食費について説明したものが 있습니다。今後の集金について関わるものですので、必ず確認してください。

(2) 学力学習状況調査の中止

4月に実施予定であった「学力学習状況調査」が正式に中止になりました。後日問題が送られてきますので、正式ではありませんが、校内で実施したいと考えています。

(3) 1学期末テスト

6月末に予定されていた期末テストを、7月1日(水)～3日(金)に延期することになりました。1学期が7月末まで延びたことによるものです。学校再開後に学習する内容だけではなく、これまでの課題で扱った内容も出題されることになると考えられます。学校休業中の内容については、教科によって何らかの再確認や学び直しをする機会を取ることになりますが、時間的にはかなり短い時間になると思いますので、現在の取り組み方はかなり大切になってきます。

進路コーナー

ここでは、進路や入試に関連する学習指導についてお伝えします。

(1) 県立高等学校入学者選抜関係諸日程(抜粋)

【全日制課程】

① 特色選抜関係

＜願書等提出＞ 令和3年2月1日～2日

＜面接等＞ 令和3年2月8日、9日

② 一般選抜関係

＜願書等提出＞ 令和3年2月19日、22日

＜学力検査＞ 令和3年3月8日

【定時制課程】

① フレックス特別選抜関係

＜願書等提出＞ 令和3年2月25日～26日

＜フレックス特別選抜＞ 令和3年3月8日

② 一般選抜関係 <願書等提出> 令和3年3月12日、15日～16日

<学力検査> 令和3年3月18日

【通信制課程】

＜願書等提出＞ 令和3年3月12日、15日～19日、22日～24日

＜面接＞ 令和3年3月20日、25日



★今後、教育相談や11月の三者面談等を利用して、受検する場合の出願先を私立高校ともに決めていくことになります。

(決定までの詳細は、今後の学年だよりや7月8日の学年PTAで示していく予定です)

(2) 進路希望調査

学校再開後に各ご家庭に「進路希望調査」の用紙を配付させていただきます。一日体験学習もどのような対応になるか分からない中、初めての入試を迎える保護者の方にとっては、どのように決めていくべきか戸惑うことの方が多いかと思いますが、できる限りの情報を提供していきますので、連携してお子様の将来のことを考えていきましょう。

ここでは、今後の進路先を決めるのにあたって参考となることをいくつか挙げたいと思います。

① 高校の仕組みを知る

今回は、項目だけ挙げますが、進路に関する基本知識です。保護者の皆様とお子様でどれだけ理解できているかを確認してみてください。(以前、学年PTAでも示した言葉です)

- | | |
|-----------------|-------------|
| ア 全日制と定時制と通信制 | イ 公立(県立)と私立 |
| ウ 特色選抜と一般選抜 | エ 単願と併願 |
| エ 普通科と専門学科と総合学科 | |



② 子どもの考える進路と保護者の考える進路

各ご家庭で進路決定に対していろいろな考え方があることは承知していますが、気をつけてほしいと思っていることは、①子どもだけに判断させないでほしい。②保護者だけの意見で判断しないでほしい。ということです。多くの情報を元に、自分の描く進路がどれだけ達成可能なのか？どれだけ努力しなければならないのか？目標を変える必要があるのか？など、直前になって戸惑わないようにするためにも、できるだけ多くのコミュニケーションを取りながらいろいろな視点を身に付けてほしいと思います。学校と保護者と子どもでどれだけの話ができたかということで結果は変わると思います。

③ データから思うこと

必ずそうなるわけではありませんが、一つのデータを示します。

文部科学省が統計を行った結果によると、高校の中途退学者は、通信制課程を調査対象に加えた13年度の5万9923人に対し、17年度には4万6802人と1万3121人も減少。高校在籍者数に占める割合も1.7%から1.3%に減少していた。ところが18年度には4万8594人となり、一転して17年度よりも1792人増加した。在籍者数に占める割合も1.4%となった。中退する理由としては「もともと高校生活に熱意がない」「人間関係がうまく保てない」「ア 授業に興味がない」「イ 学校の雰囲気が合わない」といった「学校生活・学業不適応」がもっとも多く、全体の34.1%を占めています。(教育新聞 2019年10月18日)

私は、上位にある「中退する理由」には、進路選択の際の相談不足が原因の一つであると考えています。特に、上記のアとイに関してはその原因が当てはまるのではないのでしょうか。以前、私の「どうしてこの科を選んだの？」の質問に対して、「親に言われたから」「友達が行くから」といった回答がありました。一部の子どもは、その科がどんなことを学ぶところなのかを理解していませんでした。授業に興味がないのは当然だと思います。ここで、私が言いたいのは、「中退がまずい」ということなのではなく、進学してから「こんなことはやりたくない」「こんなことを学ぶとは思わなかった」という言葉が出なくても済むようにしたいということです。もちろん、十分な学力も進路選択の条件に必要なことですが、得ることができる限られた情報で、よく相談する必要があると思います。

※高校の情報の柱となる一日体験学習に関しては、分かり次第お知らせしたいと思います。